

テーマ別パスファインダー



論文の読み方・書き方を理解する



✧ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2021年9月29日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. イントロダクション

＜ 論文とは？

論文とは、端的に言うと、「問い」を立て、それに対する「答え」を、根拠に基づき論理的に明らかにする場です。

大学の講義で提出が求められるレポートは、大抵の場合、あるテーマについて既存の情報を調べてまとめるだけで良いですが、論文の場合はそれだけでは不十分です。論文で重要なことは、あるテーマについてこれまでの研究で既に分かっていることを整理した上で、まだ明らかになっていない新しい「問い」を自分で立て、根拠に基づきながらオリジナルな見解を導くことです。そのため、自分の感じたことを自由に書き、特に論拠の提示も必要としないエッセーなどとも異なります。

以上を踏まえた上で、ここでは、論文の読み方・書き方について説明します。より良い卒業論文の研究を行うために、ぜひご活用ください。

II. 論文の読み方

ここでは、論文を書く前に、論文を読む方法について説明します。

＜ 論文の読み方を学ぶ意義

①どのような論文が「良い」論文なのか学ぶことができる

ここでいう「良い」論文とは、問い・答えが明確になっており、また客観的根拠に基づき論理的に答えが導かれている論文です。実は、様々な研究者が書いた論文の中にも、問いと答えが食い違っているものや、根拠が不十分なものなど、「良くない」論文が溢れています。たくさんの論文を読みながら、どのような論文が「良い」論文なのか考える訓練は、自分が論文を書く時にもきっと役に立つでしょう。

②論文のテーマ・問いを探ることができる

自分が卒論などで扱いたいテーマに関連のある先行研究を調査することは、自分の論文の問いを決めるにあたって最重要です。関連する先行研究を読んだときに、様々な疑問点が浮かび上がってくることでしょう。その疑問点から、自分の論文で扱う問いを発見することもできます。

＜ 論文の読み方

①「問い・論証・答え」を整理する

論文で扱う問いと答えは何か、そしてどのような論証によって答えを導いているのか。この点について整理します。その上で、特に以下の点について確認しましょう。

- ・ 問いと答えがきちんと対応しているか。
- ・ 答えを導く論証において、矛盾している点や根拠が不十分な点はないか。また、論証において用いられている根拠は、筆者の意見ではなく客観的事実であるか。
- ・ 論証と答えの間に飛躍はないか。
- ・ 抽象的な言葉の定義づけがきちんとされているか。(例えば「平和」「民主的」などといった、一見わかりやすいような言葉を指します。このような言葉がキーワードとして用いられている場合、その論文においてはどのように定義づけられているか、確認が必要です。)

②疑問点を見つけ出す

専門的な文献に読み慣れていないと、内容が難しくてかえって疑問点が浮かんでこない、ということがあります。しかし、その論文は自分の関心のあるテーマについて全てのことを教えてくれていますか？きっとそんなことはないはずです。

まずは、どんな些細なことでも良いので、疑問点を見つけましょう。例えばこの専門用語の意味が分からない、などでも構いません。専門用語によっては、定義が曖昧で、学界において現在までその定義について議論されているようなものもあるため、ある用語の意味について考えることも、自分の論文の問いを探すカギとなりえます。そのほか、論文の主旨と直接関係のなさそうな点でも良いので、些細な疑問を書きだしましょう。

そして、筆者の主張全般において、疑問に感じる点や反論はないか考えましょう。例えば、論証の内容について納得できない部分はないか、論文で示されている答えとは異なる答えが導かれる可能性はないだろうか、などと考えてみましょう。書かれている内容を鵜呑みにするのではなく、批判的に読むことが大切です。

③参考文献一覧を確認する

文献調査において、ある文献の参考文献を確認することは非常に大切です。そこから芋づる式に、自分の論文に役立ちそうな文献を探することができます。気になるタイトルの文献があれば、どんどん読んでみて、テーマについての理解を深めましょう。

III. 論文の基本的な構成

ここからは、論文の書き方について説明します。まずは、論文の基本的な構成を確認しましょう。

＜ 要約

論文の内容を手短に紹介します。要約に書くべきことは、主に以下の3点です。

- ・論文の目的（つまり論文の問い）
- ・論文の結論（つまり問いに対する答え）
- ・どのような資料・データを用いて、論じたのか

＜ 序章

まず、論文で取り上げるテーマを説明します。そして関連する先行研究を整理し、そのテーマについて既に明らかになっていることを説明した上で、自分がこの論文で立てる「問い」が何か述べます。さらにそのテーマに関連する分野全体の動向などに触れながら、できるだけ広い視野で、このテーマの研究を行う意義とは何か述べます。

注意点として、テーマを選んだ個人的な動機は述べず、あくまで客観的に、このテーマを扱うべき理由を述べるようにしましょう。

そして、どのような資料・データを用いて論じるかについても述べます。（なおこれについては、本論で述べても構いません。）

＜ 本論

資料やデータなど、客観的な根拠に基づいて、問いに対する答えを論証します。

注意点として、自分と他人の主張の区別がつくように書きましょう。また、客観的な主張を示す際、注釈をつけてその根拠となる文献・資料を示すようにしましょう。（なお引用の書き方については、パスファインダー「レポート・論文のための引用の技術」も参考になります。）

＜ 終章

本論の内容をごく簡単に整理し、問いに対する答えを明らかにします。

また、大学院などでこのテーマの研究を続けたいと考えている場合は、問いへの答えを踏まえて見つけた新たな研究課題についても述べるとよいでしょう。

＜ 参考文献

参考文献の書き方については、卒業論文を提出する学部・学科ごとにルールが定められていることがあるので、そのルールに従いましょう。また、パスファインダー「参考文献の書き方」も参考になります。

IV. 論文を書くときの注意点

◀ 剽窃しない！

以下のことをすると剽窃とみなされ、論文は受理されません。

①他人の論文などを丸写しする

研究者・教授が書いた論文はもちろんのこと、友人の論文も丸写しはいけません。

また、近年では卒論代行サービスというものも出回っていますが、卒論を審査する教授はプロですから、このような業者書いてもらっても必ず見抜かれます！きちんと自分の言葉で書きましょう。

②無断借用

他人の文献の一部を引用、あるいは参考にした主張を書く場合、必ず注釈をつけるなどして、それが他人の主張であるということが分かるようにしましょう。そうしないと、他人のアイデアを無断で借用したということになり、剽窃扱いされます。

◀ 「問い・論証・答え」と関係のないことは書かない

字数を稼ぐために、本論と関係のないことを無理やり書く人もいますが、そのような論文は非常に読みづらく、良い論文とは言えません。よくある例は、論文のテーマに関する個人的な思い出・エピソードを書くことです。先述しましたが、そのテーマを扱うことに決めた背景を書く場合は、個人的なエピソードではなく、そのテーマに関する先行研究などをもとにして、客観的な背景を述べるようにしましょう。

◀ 卒論で扱うのに適切な問いを立てる

多くの学生は、卒論で扱うのに適切な問いを見つけることに苦戦します。よくない問いのパターンとしては、主に以下のものが挙げられます。

①答えが到底見つかりそうもない、大きすぎる問い

例えば「哲学とは何か」「中世とはどのような時代か」など、卒論という限られた字数で扱うには大きすぎる問いです。これらを卒論で扱える程度のより小さい問いにするには、例えば「〇〇という哲学者の思想がどのようなものであったか」「〇〇（ある特定の地域）の中世の政治体制はどのようなものであったか」などとし、研究対象を絞ります。小さすぎるのでは？と思うくらい小さい問いの方が、明確な答えを見つけやすいです。

②答えが流動的になりやすい問い、あるいは関連する先行研究が全くない問い

例えば「コロナウイルスの影響で人々の暮らし・経済はどう変わるか」という問いは、あまりにタイムリーすぎて、かえって扱いにくいです。このような今現在起こっている事象に関する問いは、卒論執筆中に答えがコロコロ変わるでしょうし、先行研究なども少ないため調査が難しいです。（※なお本パスファインダーは、2020年6月に作成したものです。）また、先行研究が全くないテーマも、研究の手法が見いだせず、卒論で扱うには難しすぎるため避けましょう。

V. 参考文献

本パスファインダーを作成するのに参照した文献の一覧です。どれも論文を書く際に立つ文献ですので、ぜひご活用ください。

- ◀ **小笠原喜康（2007年）『論文の書き方：わかりやすい文章のために』ダイヤモンド社**
論文の構成やルール、論理的な文章の書き方などについて分かりやすく説明されています。
【総合図-A棟4階 学習用図書 816.5||OGA】

- ◀ **河野哲也（2018年）『レポート・論文の書き方入門』慶応義塾大学出版会**
論文の構成や注釈のつけ方などについて詳しく説明されているほか、テキスト批評のやり方についての説明もあるため、論文の書き方だけでなく読み方も学ぶことができます。
【総合図-A棟2階 アカデミック・スキル・コーナー 816.5||KON】

- ◀ **戸田山和久（2012年）『新版論文の教室：レポートから卒論まで』NHK出版**
論理的な文章を書くことが特に苦手な人にとっても、文章の書き方がわかりやすく説明されています。
【総合図-A棟4階 学習用図書 816.5||TOD】

- ◀ **西川真理子ほか著（2017年）『アカデミック・ライティングの基礎：資料を活用して論理的な文章を書く』晃洋書房**
この本は卒論を書く人だけでなく、初めてレポートを書く学生にとってもオススメです。アカデミック・ライティングで用いられる表現について習得できるほか、論理的な文章を書く練習ができる本です。
【外国図-4階開架 816||252】

- ◀ **山田剛史・林創著（2011年）『大学生のためのリサーチリテラシー入門：研究のための8つの力』ミネルヴァ書房**
「聞く力」「課題発見力」「情報収集力」「情報整理力」「読む力」「書く力」「データ分析力」「プレゼンテーション力」の8つについて述べられています。論文の読み方・書き方だけでなく、卒論研究の調査方法や上手な研究発表のやり方まで学ぶことができます。
【総合図-A棟2階 アカデミック・スキル・コーナー 377.15||YAM】

✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。